海外インターンシップ情報ソース

2022 年 4 月更新

海外インターンシップは受け入れ先企業や団体のご厚意により成り立っている部分が大きいプログラムです。世界中で新型コロナ感染症拡大の収束が不透明な現在、多くの受け入れ先機関は海外で大変厳しい状況にあり、海外インターンシップをすぐに実現することは難しいのが実情です。

しかし、将来海外インターンシップが実施できる環境が整ったとき速やかに行動できるように今から準備することは可能です。また、海外には行けなくても、日本国内で体験できる国際的なインターンシップも少なからず存在します。

下記情報はインターンシップ生募集案内に限らず、各国での日本企業の動向や日本における外国企業動向、業界動向等、幅広く世界経済の動きを知ることができる情報ソースです。海外インターンシップの準備を進めるにあたっての手がかり、ヒントとして定期的に検索してみてください。

１）**Partner** ：独立行政法人国際協力機構 JICA が運営する国際キャリア情報のページ。民間企業、NGO 等国際協力関連のキャリア情報掲載。
基本情報で「勤務地」国・地域名、「勤務形態」インターン、ボランティア等を選ぶと、該当する募集情報が検索できます。

２）**独立行政法人国際協力機構 JICA**：JICA インターンシッププログラム。JICA 本部、JICA 国内機関、開発コンサルティング企業等でのインターンシップを通して JICA 事業や日本の国際協力について理解を深めることが目的。年 2 回募集があります。コロナ禍のため海外機関でのインターンシップ受け入れは休止中。

３）**外務省**：外務省が提供する国内外の国際機関でのインターンシップ情報

４）**特定非営利活動法人アイセック・ジャパン AIESEC in Japan**：世界最大級の学生組織 AIESEC の日本支部。海外インターンシップ事業を運営しています。ただし現在多くが休止中。

５）**東京外語会**：東京外国語大学 OBOG を会員とする東京外語会の海外支部のメンバーに連絡をとることができます。支部一覧にアクセスするために必要なパスワードは外語会に問い合わせてください。

６）IAESTE JAPAN：正式名称は The International Association for the Exchange of Students for Technical Experience という理系全般の学生を対象に海外インターンシップを仲介している国際的非営利・非政府組織ですが、国際経済、国際金融、ジャーナリズム等社会科学系の研修分野も選ぶことが出来ます。

海外インターンシップ情報ソース

７）一般財団法人日本アジア振興財団　：在日・在外大使館等公的機関やアジア地域諸国と協力して東南アジア地域諸国の文化・教育・経済の振興と相互理解に寄与することを目的に 2006 年に設立、インターンシップ事業は 2007 年から開始。主な派遣先はベトナム、カンボジア、フィリピン。

８）**商工会議所**：世界で活動する日本企業や、日本で活動する外国企業を国・地域ごとに組織・運営している各国・各地の商工会議所一覧です。インターンシップ希望の国・地域にある商工会所のリンクから現地情報を入手できます。

- 在外日本商工会議所一覧
- 在日商工会議所一覧

９）**日本にいながら国際的活動が可能な団体等**：各国の在日大使館など、例えば・・・

- 国連広報センター（unic）　：　定期的にインターン募集
- アフガニスタン大使館：インターン生募集
- 米国大使館公式マガジン：インターン募集のページ
- 国際学生会議所 UNISC International　：日本で唯一の国連 NGO 認可学生団体。大使館オンライン訪問プログラム実施中。
- 一般社団法人日米協会 The America-Japan Society, Inc.：日米の有識者たちにより 1917 年に創立された日本でも最も歴史と伝統のある日米民間交流団体。

****